

定例記者会見資料



公立大学法人
島根県立大学

○日 時	平成22年9月8日(水) 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	本田雄一 理事長・学長
○会見項目	【全キャンパス共通】 ① 島根県立大学歌の制定について . . . [資料1] ② 島根県立大学マスコットキャラクターの制定について . . . [資料2]
○資料提供項目	【浜田キャンパス】 ③ アドミッション・オフィス入試の志願状況について . . . [資料3] ④ 第11回海遊祭実施について . . . [資料4] 【松江キャンパス】 【出雲キャンパス】 ⑤ がん対策キャンペーンについて . . . [資料5] ⑥ ほのぼのくらぶ「子育て支援部」 ー看護学生による乳がん検診啓発活動ー パパママがん検診に行こう!! . . . [資料6] ⑦ 護身術 (Part2) について . . . [資料7]
○行事予定	【浜田キャンパス】 ・第2回オープンキャンパス 9月18日(土) ・AO入試(二次面接) 9月19日(日)～20日(月) ・島根県立大学開学10周年記念式典 10月10日(日) ----- 【松江キャンパス】 ----- 【出雲キャンパス】 ・石見AO入試 1次選抜 9月10日(金) 2次選抜 9月25日(土) ・出雲キャンパス学園祭「つわぶき祭」 10月16日(土)～17日(日)

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。

なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 総務課 TEL 0855-24-2200

松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525

出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200

平成 22 年 9 月 8 日
島根県立大学 浜田キャンパス
交流研究課(地域連携推進室) 岡崎
TEL0855-24-2396 FAX0855-24-2208

島根県立大学歌の制定について

1. 制定趣旨

島根県立大学は、21 世紀をになうべき創造性豊かで実践力ある人材を育成し、教育研究を通して地域の発展に資するため、2007 年 4 月、既存の島根県立大学（浜田）、島根県立島根女子短期大学（松江）、島根県立看護短期大学（出雲）の 3 つの大学を統合して開学した。

そして、従来 3 キャンパスがそれぞれ歴史的に蓄積してきた成果を継承し、21 世紀における新たな飛翔をめざす大学の姿勢を内外に示すため、2010 年 4 月に「島根県立大学憲章」を制定した。

この憲章の趣旨を反映した大学歌を制作し、学生、卒業生、教職員がこれを末永く愛唱することによって、3 キャンパスの融合と母校愛の涵養に資するため「島根県立大学歌」を制定する。

2. 制作依頼

- ・作詞 平田俊子氏 島根県立大学歌「鳥とともに」
- ・作曲 寺嶋陸也氏

3. 制定披露予定

- ・島根県立大学開学 10 周年記念式典において制定披露
- ・記念式典日時 10 月 10 日（日）10:30～12:00
- ・披露の手順

①作詞者平田俊子氏による学歌朗読

②作曲者寺嶋陸也氏の指揮による合唱披露

- ・合唱団の構成

浜田市民合唱団＋石中央文化ホール合唱団”響”＋教職員・学生有志

<合同練習予定>

9 月 24 日（金）総合福祉センター 19:00～21:00

9 月 29 日（水）石中央文化ホール 19:00～20:30

10 月 9 日（土）県立大学講堂 19:00～20:00

<参考> 作詞者、作曲者のプロフィール

【作詞者】 平田俊子（ひらたとしこ）

詩人・劇作家・小説家。1955年島根県生まれ。立命館大学文学部日本文学科卒。第一詩集「ラッキョウの恩返し」で注目される。以後の詩集に「(お)もろい夫婦」「ターミナル」(晩翠賞)「詩七日」(萩原朔太郎賞)「宝物」などがある。戯曲に「甘い傷」(岸田國士賞候補・「開運ラジオ」所収)、小説に「ピアノ・サンド」「二人乗り」(野間文芸新人賞)「さよなら、日だまり」「殴られた話」など。ウィットと寓意に富んだ筆致で感情のひだに分け入り、「この世」の位相をずらすと変えてしまう、稀代の言葉づかい。

【作曲者】 寺嶋陸也（てらしまりくや）

1964年4月30日東京生まれ。

神奈川県立相模原高校を経て84年東京藝術大学音楽学部作曲科に入学。92年同大学院音楽研究科修士課程修了。

作曲を安達元彦、末吉保雄、間宮芳生、浦田健次郎、ピアノを遠藤恵眞子、辛島輝治の各氏に師事。

在学中から作曲とピアノ演奏の両面で積極的に活動を行い、特にオペラシアターこんにゃく座をはじめとする劇場での演奏は高く評価された。

86年 第1回摂津市音楽祭L.C.コンクールのピアノ演奏で金賞受賞。

89年 東急 Bunkamura シアターコクーンのおープニング公演「ホフマン物語」で音楽監督を務めた。

93年から95年まで6回にわたってグリーンホール相模大野でコンサートシリーズ「20世紀の古典」を企画・構成。

95年 神奈川フィルハーモニー管弦楽団の委嘱により『尺八・二十絃箏と管弦楽のための協奏曲』、北九州市の響ホールフェスティバルの委嘱により『弦楽四重奏曲第三番』を作曲。響ホールフェスティバルからは翌年も続いて委嘱を受け、オーボエ・三味線・打楽器のための『異郷の景色』を作曲、モーリス・ブルグ、杵屋子邦、吉原すみれの各氏によって初演された。

97年 東京都現代美術館「ポンピドー・コレクション展」開催記念として開かれたサティ連続コンサート「伝統の変装」(全6回)を構成・出演

98年4月 国立劇場の委嘱により正倉院の復元楽器、箏篋・瑟・新羅琴のための『大陸・半島・島』を作曲。

98年9月 オックスフォード大学モードリン・カレッジ聖歌隊の委嘱により『詩編第49番』を作曲、東京とオックスフォードで初演された。

98年12月 マルタ・アルグリッチと伊藤京子の委嘱でプロコフィエフの「古典交響曲」を2台のピアノのために編曲。この編曲は北九州で初演された後すぐにレコーディングされ、またアルグリッチとネルソン・フレイレらの演奏によってパリのシャンゼリゼ劇場などヨーロッパ各地で繰り返し演奏されている。

99年から 北海道美幌町の「子どものための美幌国際芸術祭」の音楽監督。

2003年1月 パリ日本文化会館にて「東洋と西洋の出会い～寺嶋陸也作品展」を開く。

2006年7月 タングルウッド音楽祭に招かれ、ボストン交響楽団のメンバーと自作を含む室内楽を演奏。

作品には、ほかにオペラ『ガリレイの生涯』『末摘花』、ヴォードヴィル『タバコの害について』、混声合唱のための『オレンジの木かげ』(G.ロルカ詩)『風のすきとほった歌』(宮澤賢治詩)『みち』(谷川俊太郎詩)、合唱ファンタジア『オホホ島綺譚』、『無伴奏ヴィオラ・ソナタ』、ピアノのための『12の前奏曲』、朗読と箏、室内管弦楽のための『貝の火』などがあり、邦楽器のための作品も多い。

作品はこれまで国内はもとよりイタリア、イギリス、フランス、オランダ、アメリカ合衆国などでも演奏されている。

作曲のほかにもピアニストとしてリサイタルなどの独奏をするほか、内外の著名な演奏家と数多く共演し、指揮やコンサートの企画など、活動は多方面にわたる。

CDに、「大陸・半島・島/寺嶋陸也作品集」(ALCD-9026)、「二月から十一月への愛のうた(栗山文昭の芸術2/寺嶋陸也作品集)」(VICS-61092)その他室内楽や歌曲のピアノなど、多くのCDがある。

島根県立大学歌

鳥ととみに

作詞 平甲俊子

作曲 寺嶋陸也

/2010年8月/

島根県立大学歌

島とともに

作詞 岸田俊子
作曲 寺嶋隆也

♩ = 100 ca.

1. 島は かくれ へ < 島 とし
2. よる かくれ へ < 島 とし

の う た に 文 に 3 に 2 1 へ < とし の こ と ば は
の か か や 3 に 3 へ 2 1 へ とし の こ と ば は

あからけいのか うとあしいの は た せ- た- 3 う
あからけいのか うとあしいの は た せ- た- 3 う

みあITれは はるかたへら- みわたせば 中たかほうみ ゆるきな
いとまごさ あすれはりれは いらぬか 中たかほうみ はとれは

Handwritten musical score for the first system. The vocal line is in treble clef with a key signature of one flat and a 4/4 time signature. The lyrics are written in hiragana. The piano accompaniment is in grand staff (treble and bass clefs).

Lyrics:
 い たはらの た た た か らとほ らとほ たいし
 い りえきの た た た か らとほ らとほ ちとあ

Handwritten musical score for the second system. The vocal line continues with the same notation and key signature. The piano accompaniment continues with chords and moving lines.

Lyrics:
 らとほ らとほ しんじ うまき きう せ いきふ あ
 らとほ らとほ ちとあ うまき きう せ いきふ あ

Handwritten musical score for the third system. It includes a first ending bracket labeled '1.' at the end of the system. The vocal line and piano accompaniment conclude this section.

Lyrics:
 し た せ とりの う たごえと とあ に
 し た せ はらの か かやきと とあ

Handwritten musical score for the fourth system. It includes a second ending bracket labeled '2.' at the beginning. The piano accompaniment features a final chord with a fermata.

Lyrics:
 に

25. VIII. 2010 木原

島根県立大学歌

鳥とともに

作詞 平田俊子

朝がつれてくる 鳥の歌声
心に響く
鳥の言葉はわからないのに
いとおいしいのはなぜだろう
見上げれば はるかな空
見渡せば ゆたかな海
ゆるぎない 大地のただなか
人は 人を愛し
人は 人を信じ
生きる きょうを
生きる あしたを
鳥の歌声と ともに

夜がつれてくる 星の輝き
心を照らす
星の言葉はわからないのに
なつかしいのはなぜだろう
いつまでも 忘れなければ
いつの日か 夢はかなう
果てしない 時のただなか
人は 人を求め
人は 人を敬し
生きる きょうを
生きる あしたを
星の輝きと ともに

平成 22 年 9 月 8 日
島根県立大学 浜田キャンパス
交流研究課(地域連携推進室) 岡崎
TEL0855-24-2396 FAX0855-24-2208

島根県立大学マスコットキャラクターの制定について

1. 制定趣旨

島根県立大学は、21 世紀をになうべき創造性豊かで実践力ある人材を育成し、教育研究を通して地域の発展に資するため、2007 年 4 月、既存の島根県立大学（浜田）、島根県立島根女子短期大学（松江）、島根県立看護短期大学（出雲）の 3 つの大学を統合して開学した。

そして、従来 3 キャンパスがそれぞれ歴史的に蓄積してきた成果を継承し、21 世紀における新たな飛翔をめざす大学の姿勢を内外に示すため、2010 年 4 月に「島根県立大学憲章」を制定した。

この憲章の精神を一層発揚し 3 キャンパスが一体となって共通の理念実現邁進する機運を醸成するため、憲章のイメージを反映したマスコットキャラクターを制定する。

2. 制作方法

○一般公募 公募期間 H22.6.1 ~ H22.7.14
応募総数 244 点

3. 審査結果

最優秀賞：塩崎あゆ美（しおざきあゆみ）（大阪府大阪市）

応募作品名称「オロリン」

<名称を考えた理由>

島根の神話に出てくるオロチをかわいらしく響きがよいように「オロリン」

<キャラクターを考えた理由>

島根の神話に出てくるオロチの精をモチーフにキャンパスライフの仲間として皆様から親しまれるようなキャラクターに表現
地域社会の活性化と発展に寄与する人材を養成することを使命とし、本を片手に持ち勉学に励み、地域に信頼され、貢献する若者のさらなる飛躍、将来性を表現している
シンプルなデザインで縮小や単色に耐えられるのでグッズなど多様な使い方が可能

4. 制定披露、表彰予定

- ・島根県立大学開学 10 周年記念式典において制定披露、表彰予定
賞状及び副賞（賞金 10 万円）
- ・記念式典日時 10 月 10 日（日）10:30 ~ 12:00

